

産地戦略

実施期間 令和6～7年度

実施主体 愛知県
都道府県 愛知県
対象地域 全域
対象品目 水稲



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	● 温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

耕起作業にけん引式作業機（スタブルカルチ等）を活用することで、ロータリーによる耕起より作業時間と消費軽油量を削減し、水田作農家の経費削減を図る。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	← 水稲または大豆の生育期間 →									← 耕起 →	← 耕起 →		
技術名									ロータリーによる耕起				



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	← 水稲または大豆の生育期間 →									← 耕起 →	← 耕起または碎土 →		
技術名									けん引式作業機による耕起	碎土			けん引作業機：スタブルカルチ、プラウ等 碎土：パワーハローまたはロータリー

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R12	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	25,800	▶ 25,800	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）		▶	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	1	▶ 70	
省力化に資する技術の取組面積（ha）		▶	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	ロータリーによる2回耕起	けん引式作業機を利用した耕起	10aあたり耕起時間の50%以上削減 消費燃料10%の削減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境 省力	けん引式作業機の利用	農家慣行	▶ 耕起時間 50%、消費燃料10%削減	・ロータリー 2 回耕起→けん引式作業機＋碎土機 の計 2 回耕起 ・ロータリー 2 回耕起→けん引式作業機
			▶	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する
（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

部会研究会、栽培講習会での情報提供

関係者の役割

関係者名	愛知県（農業革新支援センター）	普及指導センター	JA	JAあいち経済連
役割	検証に係る調整、とりまとめ	実証ほの調査、進行管理	農業者との調整、調査補助	技術支援、検討会への参加

その他